



2022年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年10月8日

上場会社名 株式会社 昂
 コード番号 9778 URL <https://www.subaru-net.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西村 秋

問合せ先責任者 (役職名) 経理担当部長 (氏名) 岩下 敏明

TEL 099-227-9505

四半期報告書提出予定日 2021年10月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	1,824	6.9	76		89		41	
2021年2月期第2四半期	1,707		10		1		27	

(注) 包括利益 2022年2月期第2四半期 47百万円 (%) 2021年2月期第2四半期 39百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	70.12	
2021年2月期第2四半期	46.21	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第2四半期	6,879	3,349	48.7
2021年2月期	6,841	3,377	49.4

(参考) 自己資本 2022年2月期第2四半期 3,349百万円 2021年2月期 3,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		120.00	120.00
2022年2月期		0.00			
2022年2月期(予想)				120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,906	6.5	341	109.1	364	99.6	234		397.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期2Q	693,576 株	2021年2月期	693,576 株
期末自己株式数	2022年2月期2Q	102,604 株	2021年2月期	102,604 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期2Q	590,972 株	2021年2月期2Q	591,012 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、断続的な緊急事態宣言の発出や、まん延防止等重点措置の適用地域拡大がなされるなど、経済活動が制限された状態で推移いたしました。一方で同ウイルスに対するワクチン接種が本格化し、政府による各種政策の効果やワクチン接種が先行した諸外国経済の改善もあり、景気を持ち直しが期待されるものの、未だ感染収束の時期が見通せず、先行き不透明な状況が続いております。

当学習塾業界におきましては、昨年のコロナ禍を機に、オンライン授業や映像授業などのデジタルを活用した学習サービスが普及する中、感染防止対策の徹底を講じた上で通塾に対する制限が緩和され、従来の対面型授業にオンライン学習支援を併用した新たなビジネスモデルの構築が進展しております。

このような状況下において、当社グループは、引き続き全教室の感染防止対策を徹底し、生徒と保護者が安心して通塾できる環境作りに注力すると共に、映像授業(LMS)コンテンツの充実により、一層の自宅学習支援を図ってまいりました。さらに、従来の昂LMSにAI技術を搭載し、生徒の学習効果の向上を検証するプロジェクトを新設いたしました。

事業展開としては、教室運営と人的資源の効率的運用を図るため、2021年3月に玉里校(鹿児島県鹿児島市)を近隣の教室に統廃合いたしました。また、契約期間満了により同月に玉名校(熊本県玉名市)を閉校いたしました。

生徒構成においては、今夏の九州地域における感染拡大の影響が懸念されましたが、春の新年度開始時期に続き、夏のスクーリングにおいても全部門とも前年実績を上回る結果となりました。また、例年の昂合宿に代わり実施された集中トレーニングについても、前年実績を上回る動員結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,824百万円(前年同四半期比6.9%増)、営業利益は76百万円(前年同四半期は営業損失10百万円)、経常利益は89百万円(前年同四半期は経常損失1百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は41百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失27百万円)となりました。

当社グループは、学習塾事業の単一セグメントであり、セグメントごとの経営成績は記載しておりませんが、部門別売上高は以下のとおりとなりました。

幼児・小学部は481百万円(前年同四半期比5.5%増)、中学部は894百万円(前年同四半期比4.8%増)、個別指導部は89百万円(前年同四半期比8.1%増)、高等部は株式会社タケジヒューマンマインドを含め275百万円(前年同四半期比16.9%増)、その他合宿収入等83百万円(前年同四半期比6.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ37百万円増加して6,879百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ89百万円増加して713百万円、固定資産は前連結会計年度末に比べ51百万円減少して6,165百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金が増加したことによるものであります。

固定資産減少の主な要因は、有形固定資産の減価償却と建物等の除却によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加して3,529百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ173百万円減少して1,215百万円、固定負債は前連結会計年度末に比べ238百万円増加して2,313百万円となりました。

流動負債減少の主な要因は、未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債増加の主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ27百万円減少して3,349百万円となりました。

主な要因は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ125百万円増加し574百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は14百万円（前年同四半期は77百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は50百万円（前年同四半期は94百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果得られた資金は162百万円（前年同四半期は392百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入れによる収入が長期借入金の返済による支出を上回ったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の業績予想につきましては、2021年4月14日に公表いたしました業績予想を変更しております。詳細につきましては、2021年10月8日に公表しております「2022年2月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	491,051	605,072
営業未収入金	23,665	23,455
有価証券	165	339
教材	37,264	18,752
貯蔵品	1,210	1,648
その他	71,799	64,967
貸倒引当金	△633	△516
流動資産合計	624,524	713,721
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,824,004	1,799,912
土地	3,193,144	3,193,144
その他（純額）	85,935	97,343
有形固定資産合計	5,103,084	5,090,400
無形固定資産	123,394	113,445
投資その他の資産		
繰延税金資産	373,465	354,113
投資不動産（純額）	274,849	273,893
その他	342,124	333,464
投資その他の資産合計	990,439	961,472
固定資産合計	6,216,918	6,165,317
資産合計	6,841,442	6,879,038
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,088	6,697
1年内返済予定の長期借入金	647,265	665,102
未払金	73,893	45,862
未払法人税等	117,367	38,019
前受金	148,051	180,604
賞与引当金	85,722	68,406
ポイント引当金	36,945	39,891
資産除去債務	14,235	—
その他	217,807	171,332
流動負債合計	1,389,377	1,215,917
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	990,368	1,215,966
退職給付に係る負債	827,133	828,750
株式給付引当金	68,602	74,257
長期末払金	87,882	87,882
その他	50,894	56,876
固定負債合計	2,074,880	2,313,733
負債合計	3,464,258	3,529,651

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	990,750	990,750
資本剰余金	971,690	971,690
利益剰余金	1,954,838	1,921,043
自己株式	△515,939	△515,939
株主資本合計	3,401,339	3,367,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,362	△6,564
退職給付に係る調整累計額	△17,792	△11,592
その他の包括利益累計額合計	△24,155	△18,156
純資産合計	3,377,183	3,349,387
負債純資産合計	6,841,442	6,879,038

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年3月1日 至 2021年8月31日）
売上高	1,707,516	1,824,976
売上原価	1,398,616	1,464,448
売上総利益	308,900	360,528
販売費及び一般管理費	319,814	283,978
営業利益又は営業損失（△）	△10,914	76,549
営業外収益		
受取利息	4	3
有価証券利息	1,692	1,742
受取配当金	1,034	1,081
受取家賃	7,167	7,380
受取手数料	5,750	6,248
その他	1,288	1,791
営業外収益合計	16,938	18,247
営業外費用		
支払利息	2,342	2,442
社債関係費	976	25
減価償却費	1,757	1,181
租税公課	1,162	999
その他	1,346	301
営業外費用合計	7,586	4,950
経常利益又は経常損失（△）	△1,562	89,846
特別利益		
固定資産売却益	3,767	170
特別利益合計	3,767	170
特別損失		
固定資産除却損	483	4,651
投資有価証券評価損	4,954	—
補助金返還損	—	2,336
特別損失合計	5,437	6,987
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△3,233	83,029
法人税、住民税及び事業税	8,968	24,869
法人税等調整額	15,110	16,718
法人税等合計	24,079	41,588
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△27,312	41,441
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△27,312	41,441

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△27,312	41,441
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,976	△201
退職給付に係る調整額	△25,168	6,200
その他の包括利益合計	△12,191	5,999
四半期包括利益	△39,503	47,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,503	47,440
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2021年3月1日 至 2021年8月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△3,233	83,029
減価償却費	63,531	91,998
のれん償却額	5,877	—
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△1,124	10,538
ポイント引当金の増減額（△は減少）	21,810	2,945
株式給付引当金の増減額（△は減少）	3,724	5,655
賞与引当金の増減額（△は減少）	△24,117	△17,316
受取利息及び受取配当金	△1,038	△1,085
支払利息	2,342	2,442
有価証券利息	△1,692	△1,742
投資有価証券評価損益（△は益）	4,954	—
有形固定資産売却損益（△は益）	△3,767	△170
有形固定資産除却損	483	4,651
売上債権の増減額（△は増加）	△1,068	209
たな卸資産の増減額（△は増加）	14,667	18,073
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,754	△41,390
未払消費税等の増減額（△は減少）	10,551	△11,169
未払金の増減額（△は減少）	△32,209	△26,755
前受金の増減額（△は減少）	50,750	32,552
その他	△60,711	△36,904
小計	46,977	115,562
利息及び配当金の受取額	2,780	2,846
利息の支払額	△2,403	△2,448
法人税等の支払額	△124,657	△101,811
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77,303	14,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
定期預金の払戻による収入	27,000	41,000
有形固定資産の取得による支出	△23,767	△68,012
有形固定資産の売却による収入	29,207	170
投資有価証券の取得による支出	△3,785	△1,798
投資有価証券の償還による収入	10,000	10,000
投資不動産の取得による支出	△1,910	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△116,469	—
長期貸付金の回収による収入	39,080	—
無形固定資産の取得による支出	△23,854	△2,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,498	△50,975
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	820,000	620,000
長期借入金の返済による支出	△396,366	△376,565
社債の発行による収入	50,000	—
リース債務の返済による支出	△5,713	△6,395
配当金の支払額	△75,060	△75,026
財務活動によるキャッシュ・フロー	392,859	162,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	221,054	125,194
現金及び現金同等物の期首残高	285,529	449,303
現金及び現金同等物の四半期末残高	506,583	574,498

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方）

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方）に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年8月31日）

当社グループは、学習塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2021年3月1日 至 2021年8月31日）

当社グループは、学習塾事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。